

自選二十句 (2023.4-2024.3)

大西孝志

湾奥とふ袋小路や大南風
武蔵野の青き水脈額の花
将門の馬は荒くれ走り梅雨
日の向きに据え直したる大西瓜
サルビアの一足早き日暮かな
暑気払ひ老人なんて呼ばせない
提案は直ちに却下秋暑し
三番瀬二百十日の濁りかな
湾奥は全き平ら二日月

一日のノルマ五千歩鰯雲
墓標めくタワマンの列日短か
暮れ早し瀉にくぐもる鳥の声
古希とうに過ぎて初孫冬温し
冬温し復路起点のプラコーン
月冴ゆるスカイツリーの細身なる
山茶花の笑ふしかない散らしやう
山茶花や壊れしままの竹簀垣
新町に干潟のなごり芦の角
宝永の火口はゑくぼ山笑ふ
春一番スカイツリーを揺すりけり